

★夜間学校★ ★金ヶ崎★ ★35回★ ★(復)★ ★(修)★

6/4

今晚の時よこ「希望の家」階にて

テーマ「労災と職業病」

どんな職業病に労災給付がなされているか

目かくものの知るべき権利

日雇労働者として働く仲間の中にも、労災(労災)にありれた人も多くいると思います。行政の示す労災被災者数が米山の一角だということばらや公然たる事実であり、そして明らかにされている数字の半数以上が建設業で起っています。このことは何をもたたっているのでしょうか。建設業界の旧態依然たる体質・作業環境の悪化等によって他業種に比べ非常に事故が多

いということ、しかしながら事故はつきものと労使双方が考え、少々のワガならぬかの見舞金ですませ、当然受けるべき労災給付金の手続をしないという例が多いこと、この二点があると思います。

また、以前の取場で仕事の原因と思われる病気(職業病)にかかり、その結果取場をやめたという人もいます。そして、労災はケガだけではないです。そして、労災はケガだけではないです。

また、以前の取場で仕事の原因と思われる病気(職業病)にかかり、その結果取場をやめたという人もいます。そして、労災はケガだけではないです。そして、労災はケガだけではないです。

夜間学校は誰でも、自由に、無料で参加できるみんなの場です。

また、運営にも積極的に参加して下さい。

6月の予定

- ※4日(木) 労災と職業病
- ※11日(木) 労災
- ※18日(木) 運営委員会
- ※25日(木) 金ヶ崎の歴史

く、仕事の原因で起った病気にも適用されますが、今の自分の病気は労災と認定されるのだろうかと考えている人もいられるかもしれません。そこで、今夜の夜間学校では、現場で事故にあった時にはどうすれば労災給付が受けられるのか、また職業病と言われるものにはどのような種類の病気が考えられるのか、そのうち今までの裁判闘争などを通じて労災と認定された職業病はどんな病気があるのか、これら「労災と職業病」に關連する様々なこと、実際に経験し苦しんでいた仲間の話をモトに、みんな考えてみたいと思います。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

第34回 報告

テーマ 「外国のスラム」

広い視野から釜ヶ崎を見つめ直す

・韓国のスラムは、山手、ガケにつくられる。(低地は肥沃)

・東南アジアのスラムは、港の近く、湿地帯につくられる。東南アジアは、冬がなれから、過ごしやすいと思われがちだが、バンコクでは、市内でもヒザぐらいまで水がどるといふ。

・東南アジアでは、地主に土地をうばわれ、家族全員で仕事を捜しに行くことが多い。

・釜ヶ崎は、独身者が多いが、東南アジアでは、平均七、八人の子供をもつ、家族もちが多い。

・釜ヶ崎は、酒を飲んでみつきりかえっている人が多いが、東南アジアでは、飢えてみつきりかえっている人が多い。

・東南アジアでは、どんな貧しい所でもテレビがある。自分の健康よりもまず、テレビだといふ。

今回は、スライドを見ながら、東南アジアのスラムについて、上記のようなことを学びました。

★ ★ ★

今の東南アジアのスラムの現状は、昔の釜ヶ崎と似ているのではないかと、ということから、昭和二十九年頃の釜ヶ崎について話しました。

・生活水準は今よりもよかった。

・町の感じもよかった。

・仕事は行きさえすれば、いくらでもあった。

・安くて豊富に品物があつた。

・家族もちが多かつた。

・白当二五〇円だつた。

★ ★ ★

日雇は、どういふ社会になつても必要とされています。

大手の建設会社は、海外で多くの仕事をしておき、釜ヶ崎からも何人が仕事に行つていま

す。国内で仕事になかろうと建設会社はかまわないわけです。東南アジアへ出ていき、現地の労働者を安く使い、儲けているのですから。

また、敦賀の原発の事件のように、そこでも、日雇が必要とされています。釜ヶ崎の労働者に回ってくるのは危険な仕事です。

それにしても、今の苦しい現状はどうかならぬものか！

みんながつくるみんなのふるば！
 (仮称)釜ヶ崎夜間学校
 運営委員会準備会

秋の茶屋2の8の18...土喜望の家内
 電話(06) 六四七一三九四六
 (毎週木曜日七時~十時の間に)

